

◎9月の市長選挙に誰が出るの?と市民の方から聞かれます。今後、候補者選びが活発になるでしょうか?本市の将来の為に、「リーダーシップ」がある方が立候補してほしいですね!

一般質問

農業振興施策について

Q 農業振興の一環として、農産物直売所や庭先販売をしている場所をまとめた地図(マップ)を作成している自治体があり、本市でも同様な取り組みをしようか?

A 本市では平成3年から5年にかけて都市農業パイロット事業として個別直売所の開設を支援しました。当時、個別直売所のマップを作成した経緯がある。今後、八潮市地産地消推進協議会と連携し、個別直売所の案内マップの作成を検討する方向で考えている。

和宏の考え・意見

今回、久しぶりに(笑)前向きな答弁がありました。おそらく近い時期に作成するのは?と感じています。再質問では、作成する場合に個別直売所だけでなく、市内の飲食店で地場産野菜等を使用しているお店の紹介、また利用を促進する手段として、クーポン券を付けるなどの付加的価値を考へてはどうか?費用削減の観点から、マップに企業広告を入れてみてはどうか?といったことを提案しました。



大規模改修工事について

Q 本年度も市内の小中学校(柳之宮小・大原中)の耐震工事が併せて、大規模改修が予定されていますが、昨年度実施した学校(八幡小・八條中)の工事の際、一部校舎内の塗装が実施されず逆に見栄えが悪く感じました。工事の効率性を考へると、同時に実施したほうが良いと思うが教育委員会の考えを。

A この工事については児童生徒の安全を第一優先に考え、校舎の耐震化・機能の維持

児童生徒の健康に関わりのある給排水設備、電気工事の改修を実施、また国庫補助金の有効活用を有効活用するために、改修工事を限られた予算の中で実施した。

和宏の考え・意見

厳しい財政状況の中で、改修工事を実施している点は高く評価をしています。しかし、会派で視察した八條中・八幡小の改修工事後の状況でも、ここまで改修したなら、あと僅かな金額でより綺麗な校舎になるのでは?と感じる箇所がありました。学校関係者の方も、「なんで此処だけ残すのか?」と不思議に感じていました。部長答弁では、今年実施する学校も同様に実施しないとの事でした。

仮に数年後、残された箇所の塗装だけをした場合、大規模改修工事時と併せて実施した方が、費用はかなり抑えられると思います。一般論ですが、家のリフォーム等でも、あとからの追加工事は、余分な金額を要する場合が多いと思います。市内の学校の校舎は建設されて30年、40年が経過しているのが大半です。

私の個人的な考えは、多少の費用が発生しても、実施するなら中途半端な形ではなく、徹底的に改修する必要があると考へます。

フィルムコミッション設置について

Q 県内の自治体でも、公共施設を利用して、映画の撮影やCM等の撮影が行われて結果、自治体のPRに繋がるケースもあり、本市でも、事務的手続きの中核となるフィルムコミッションの設置についての考えは?

A 本市でも過去に、松の木小での映画ロケやエイトアリーナ、八潮排水機場においてテレビ番組のロケがありました。



本市におけるフィルムコミッションの設立については先進事例を参考に調査研究をしたい。

和宏の考え・意見

「調査研究」という答弁は、「今は考えていません。やりません」と私は理解しています。まあ、いきなり言われても仕方ないです(笑)

再質問で、フィルムコミッションの設置は難しいと思うが、映画のロケ等の話があった場合の体制の充実を推進してほしいと要望しました。

南部地区のまちづくりについて

Q 駅が開業し、人口が急増している地域(特に大瀬・伊勢野地区)では地域コミュニティが複雑化しており、町会・自治会関係者の間では苦慮しているケースもあると聞いています。今後行政としても、該当する町会・自治会に様々なアドバイスや支援をする必要があると感じますが考えは?

A 各町会・自治会が抱える問題等に対して、今後も先進事例の紹介や情報提供、相談体制の充実に努めたい。

和宏の考え・意見

今までの「地域」というものは、そこに住む住民が町会・自治会に大半が加入し、そこでコミュニティが構成されるという構図でした。しかし、ライフスタイルの多様化・人と人の関係の希薄化等の事情で年々、町会自治会への加入率が減少、本市でも同様な状況となっています。

私は、その解決の一つとして、町会・自治会単位ではなく、ある程度の地域(例えば中学校校区など)を一つとする「地域自治制度」を導入する必要があると考へます。

それによって、新たなコミュニティが構築出来ると思います。ただ、この取り組みをする場合、どんな区割りをするのか等、容易なことではなく、時間を要することだと理解しています。要望として、行政として早期に検討してほしいと提言しました。

選挙時の開票作業の迅速化について

今年、市長選・市議会議員選挙、そして衆議院議員選挙が予定されているが、行政の意識改革の一環として開票作業の迅速化の考えは?

前回の県知事選挙の開票作業では、前回同選挙時より約50分程度確定時間を短縮した。今後も可能な限り対応したい。

※紙面の都合上、抜粋してあります。詳しくは市議会HPをご覧ください。



○先日、県内の議会では「休日議会」を開催したと新聞報道がありました。

私も何度か、傍聴していますが、平日の昼間の時間だと、傍聴出来る市民の方も限られていると思います。議会を活性化するためにも八潮市でも「夜間議会」「休日議会」を実施してほしいと感じています。



お忙しい中ありがとうございました。